

途上国イノベーション

×

デザイン

新しい視点が人道支援の形を変える

アジア太平洋地域における先進事例

近年、アジア太平洋地域では災害に伴う被災者の数が増え続けています。一方で、国際的な支援を十分に行き渡らせることは難しく、現地住民の取り組みと、それを支援する現地 NGO の活躍が欠かせません。ADRRN 東京イノベーションハブでは、NGO に対してイノベーション文化を醸成し、住民と NGO による新しい視点での活動を促進しています。

本セミナーでは、「途上国イノベーション × デザイン」をテーマに掲げ、新しい視点による人道支援のあり方を模索します。プログラムは、NGO と外部パートナーの連携推進のため、途上国における課題解決に関心を寄せる方であれば誰でも気軽に参加し、人道支援について一から知ることができる内容となっております。外部組織との交流に関心のある NGO 関係者、ソーシャルセクターに限らず途上国における課題解決に関心のある方、多くの皆様の参加をお待ちしております。

日時： **2018 年 3 月 15 日（木）**
19:00-20:50（18:30 開場）

会場：早稲田奉仕園 You-I ホール

〒169-8616 東京都新宿区西早稲田 2-3-1

※駐車場のご用意がございませんので、恐れ入りますが、近隣の有料駐車場をご利用ください。

主催：ADRRN 東京イノベーションハブ（ATIH）
（運営団体：特定非営利活動法人 CWS Japan）

費用：無料

定員：50 名 ※定員越えの場合、お席の確約ができません。チケットのお申込みをお勧めします。

申込：Peatix から参加登録 <http://atih-seminar-innovation-design.peatix.com>
※最新情報はこちらからご確認ください。

お問い合わせ：i.uchida@cwsjapan.org（担当：打田）

参加申し込み
はこちら↓



①開会挨拶

②人道支援って何？

—世界で起きている問題

—人道支援とは

③アジア太平洋地域の人道支援におけるイノベーションとは—事例紹介

—難民と企業の雇用マッチングを促進するウェブプラットフォームのアジア展開に取り組む NGO の事例（オーストラリア）

—干ばつの多い地域における、気候変動に適応した農業の普及を推し進める NGO の事例（インドネシア）

—地域防災推進のため、地域市民情報や災害リスク情報を収集、管理するデジタルプラットフォームを開発する NGO の事例（フィリピン）

④多摩美術大学 × ADRRN 東京イノベーションハブ協力プロジェクト紹介

—講義「デザインの手法による課題解決」（多摩美術大学美術学部生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 大橋由三子教授）

—プロジェクト成果発表（多摩美術大学美術学部生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻第二スタジオ学生）

⑤パネルディスカッション

—多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 大橋由三子教授 × ADRRN 東京イノベーションハブメンバー

※プログラム内容は一部変更となる可能性があります。

ADRRN 東京イノベーションハブ（ATIH）

<http://adrrninnovationhub.org/>

ADRRN 東京イノベーションハブ（ATIH）は、アジア最大の災害 NGO ネットワークである「アジア防災・災害救援ネットワーク（ADRRN）」が、英国に拠点を持つ人道分野におけるイノベーションリーダーである Humanitarian Innovation Fund（HIF）と共に立ち上げた国際プロジェクトです。会員 NGO の組織強化、ナレッジ共有を中心として、国際機関、大学、民間企業とのパートナーシップを促進し、草の根のアイデアから持続可能な事業を生む為の取り組みを支援します。

メンバー

松本 淳（代表）

IT スタートアップ起業・エグジットを経て、アジアで非営利教育メディア事業立ち上げ。国内外で多様な事業創出を支援。国際教育 NGO アースメディア代表理事。

小美野 剛（事務局長）

CWS Japan 事務局長。ADRRN 理事兼事務局長、世界人道サミットアジア運営委員、コア人道支援基準理事などを兼務。

打田 郁恵（主席コーディネーター）

BoP ビジネスコンサルタントとして、アジア、アフリカの開発途上国での事業創出に携わる。株式会社オリナス・パートナーズ代表取締役。

和嶋 玲美（デザイナー）

途上国の課題解決にデザインの思考を以って取り組むことを志し参画。多摩美術大学美術学部プロダクトデザイン専攻卒業。